

一三二一専修

【専修大学】ホームページ http://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行 (定価一部90円) 発行所 専修大学広報課 101-8425 東京都千代田区 神田神保町3-8 TEL03-3265-5819(直)

主なニュース

- 2 櫻井宏二郎・新二部学生部長に聞く
- 3 木幡文徳・新図書館長に聞く
- 4 生田図書館で和装本作りのワークショップ
- 5 2014年度学校法人専修大学事業計画・予算
- 6 学生部セミナー「台湾へ行く」参加学生体験記
- 7 海外留学体験記
- 8 石巻専修大学 学生寮「石巻専修大学ユニバーシティハウス」地鎮祭

学校をつくらう
創立者4人の青春物語
DVD絶賛販売中(購買会他)

あなたが
あな つか がる
見 かん ぱ す
キ ャ ン パ ス

ペアレンツフェア
5/18 生田 Sun

体験授業フェア
6/22 生田 Sun

オープンキャンパス
7/20 神田 Sun
8/2 生田 Sat 3 生田 Sun
9/21 生田 Sun 11/2 生田 Sun

2015 3/21 生田 Sat

キャンパスツアー
5月▶12月 神田 生田

入学センターインフォメーション
【神田キャンパス】TEL03-3265-6677
【生田キャンパス】TEL044-911-0794

新カリキュラム始動

『学士課程教育』

専修大学は新たな教育改革に着手し、4月から学士課程教育が始まった。1〜4年次生のカリキュラムを、転換教育課程(入門科目)、導入教育課程(基礎科目)、そして「融合領域科目」によって結ばれた専門教育課程(専門科目)と教養教育課程(教養科目)に再編成したもので、全学規模で行われる。

今年度入学の1年次生は新カリキュラムの1期生。高校から大学生活へスムーズに転換できるように基礎固めをする「専修大学入門ゼミナール」(入門科目)、さらに身体活動を通して心身ともに健康であるための基礎作りをする「スポーツリテラシー」(基礎科目)の授業の模様を紹介しよう。

学ぶ意義、技法を習得

大学生活をスムーズに

健康に過ごす基礎を培う



●スポーツリテラシー

「スポーツリテラシー」は、チームスポーツ、ラケットスポーツ、フィットネスなどから一つを選択し、スポーツを通じて「コミュニケーション能力」「グループやチーム間の情報共有」「健康知識」について総合的に学び、心身ともに健康に過ごすための基礎を培う。

4月、生田キャンパスで行われた「スポーツリテラシー」では、まず健康セミナーを開催。社会問題となっている薬物乱用の防止をはじめ飲酒・喫煙の危険性について、川崎市から講師を招き講演などが行われた。

第3・4回授業では、スポーツエンカウンタープログラム(▽アドベンチャープログラム▽コミュニケーションプログラム)が、300人規模で展開された。

25日のアドベンチャープログラムでは、渡辺英次商学部准教授(スポーツ論)らの指導の下、9人1組になり、質問の答えを探しに第1体育館を出発して生田キャンパスを巡った。

「第2体育館の各階にはどのスポーツ種目が入っているか」「総合体育館入り口にある表彰台は、いつ、何のために使われたか」……。

「北グラウンドってどこ?」「総合体育館への近道は?」。質問項目と地図を手に仲間と走った。40分後に戻り、採点。トップの点数を獲得した小町佑馬さん(経済1)は「グループの仲間とは初対面でもすぐ打ち解けた。チームワークが磨かれた」と笑顔で話す。また「北グラウンドを思いっきり走った」と言う柿島さん(経済1)は「歩きながら出身地を紹介した」と息を弾ませた。

同23日には、齋藤実経営学部准教授(スポーツ論)らの指導でコミュニケーションプログラムが総合体育館で行われた。ウォーミングアップのあと、グループでゲームを行った。庄巻は「ヒューマンチェア」(人間椅子)。男女別に全員で円を作り、ゆっくりと膝を曲げて後ろの人の膝の上に座る。女子グループは数回成功。そのたびに歓声が沸き起こった。

齋藤准教授はスポーツエンカウンタープログラムについて「学生たちは五感をフル稼働させて楽しんで。スポーツの取り組み方や心構えを知ると同時に、その価値について気づきがあったので」とリテラシーの効果



スポーツリテラシーの教科書



先輩学生の話聞く社会学科1年次の学生たち

●専修大学入門ゼミナール

「専修大学入門ゼミナール」は、本学の学生としての自覚を持ち、本学で学ぶことの意義や歴史、さらに大学の学習の基本的な技法(資料の収集方法・ノートの取り方・レジュメの作成方法・論文やレポートの作成方法)を習得。少人数で実施する。

人間科学部社会学科の「入門ゼミナール」は、1クラス24人ほどの6クラスで開講。DVDを鑑賞しながら「専修大学の歴史」などを学んだあと、3回目の授業となる4月23日には、全1年次生136人が参加して「新生歓迎行事」が教員10人と上級生25人の参加のもと生田キャンパス9号館で行われた。

前半は▽専門ゼミナール▽社会調査実習、文献研究▽資格取得▽サークル活動▽アルバイト▽就職活動の6テーマに沿って、上級生が体験を話しながらアドバイス。後半は同学科の学びなどについて歓談し交流を深めた。社会学科生の先輩として、サークル活動について発表した伊藤卓哉さん(3年次)は、サイフライフセイビング愛好会の代表。同会に入部したきっかけや、かけがえのない仲間が増えたことなどを披露した。「一生懸命聞いてくれていい雰囲気でした。1年次生が1年後、2年後に何に興味を持つのか楽しみです」樋口博美教授(生活の社会学)は「上級生たちがテーマごとに体験をきめ細かく発表した。上級生1年生のつながりになればと思う」と話し、「これを機に専修大学生として、社会学科生としてのアイデンティティが芽生え、学ぶことの意義を理解してほしい」と期待する。

4回目以降は「図書館ツアー」が実施され、屋外での「フィールドワーク」などを行うゼミもあった。



アドベンチャープログラムでキャンパスを探索



薬物・喫煙・飲酒の危険性を訴える講演会

を語った。